

20230826

前期期末試験対策問題

第2回



今回の問題は、学校によって、以下の番号の問題を解いてください。

鷹取… 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10,

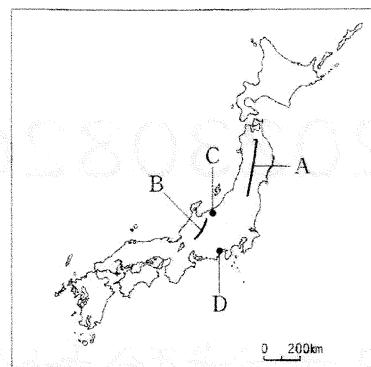
追浜… 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10,

1. 以下の問題を解きなさい

(1) 日本列島と同じ造山帯に属するものを次からすべて選び、記号で答えなさい。

- ア アンデス山脈
- イ ニュージーランド
- ウ ヒマラヤ山脈
- エ ロッキー山脈
- オ インドネシア

(2) 東北地方に南北に連なる地図中の



Aの山脈と、日本アルプスの中で最も北に位置する地図中のBの山脈を、それぞれ何というか。

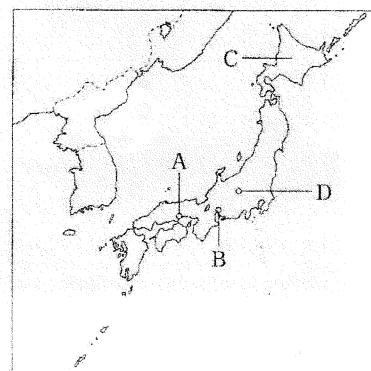
(3) 地図中のCとDの都市を結んだ線を含む地域には、断層が集まった大きな溝状の地形が見られる。これを何というか。

2. 以下の問題を解きなさい

(1) 地図中のA・Bの都市の気候の特色にあてはまるものを次からそれ選び、記号で答えなさい。

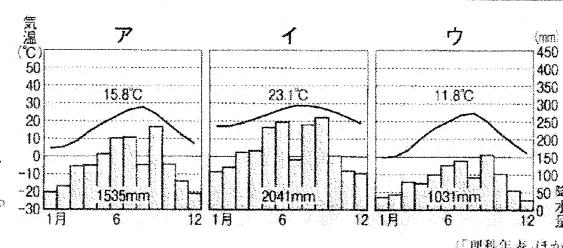
- ア 冬の寒さが厳しく、降水量が少ない。
- イ 夏は乾燥し、冬に多く雪が降る。
- ウ 冬は乾燥し、夏は降水量が多い。
- エ 一年中温暖で雨が少ない。

(2) 地図中のCの地域が属する気候带



を答えなさい。

(3) 地図中のDの都市の雨温図を、右のア～ウから選び、記号で答えなさい。



3. 以下の問題を解きなさい。

日本の経済活動は、(①)などの第1次産業、(②)などの第2次産業、(③)やサービス業など第3次産業に分けられる。現在では、産業別人口の約70%が第3次産業に従事しており、人口が集中する(④)を中心に第3次産業が特に盛んである。また、近年の日本では(⑤)に広い駐車場を備えた大型ショッピングセンターや、24時間営業の(⑥)、インターネットなどのICTを利用した(⑦)商取引など、新しい形の第3次産業が広がりを見せている。

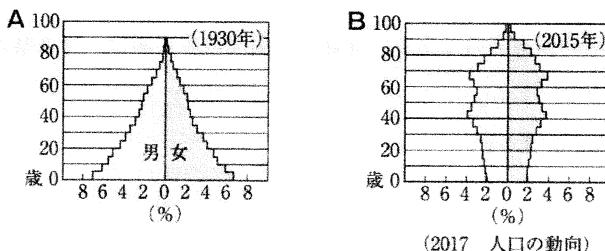
- (1) 文中の()①~⑦に当てはまる語句を、次の[]から1つずつ選んで書け。

[通信 インターネット コンビニエンスストア 農林水産業 デパート
商業 鉱工業 農村 都市 郊外 電子]

- (2) 大型ショッピングセンターなどが地方に進出することなどによって起こる、地方の商店街の問題を、簡単に書け。

- (3) インターネットなどを使った⑦商取引の便利な点を簡単に書け。

4. 以下の問題を解きなさい



- (1) A, Bの人口ピラミッドはそれぞれ何型というか。次のア~ウから1つずつ選び、その記号を書け。

ア 富士山型 イ つぼ型 ウ つりがね型

- (2) 次の文中的()①, ②に当てはまる語句をあとア~エから1つずつ選び、その記号を書け。

日本では、世界中のどの国も経験したことのないほどの速さで、老人の数が多くなる(①)が進んでいる。いっぽうで、子どもの数が少なくなる(②)も同時に進行している。

ア 少子化 イ 人口爆発 ウ 情報化 エ 高齢化

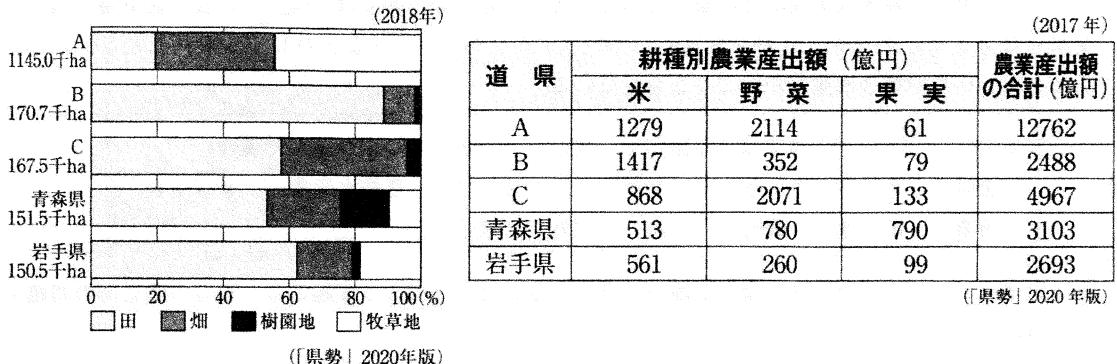
- (3) 高齢者とは、一般に何歳以上の人を指しているか。算用数字で書け。

- (4) 大都市に人口が集中しすぎる現象を何というか。

- (5) 山間部の村などで多く見られる、人口が著しく減少し、村自体の存続が困難になるような現象を何というか。

5. 以下の問題を解きなさい

- (1) 左下のグラフは、2018年における耕地面積の広い上位5道県の田、畑、樹園地、牧草地の割合を示している。右下の表は、グラフ中の5道県の2017年の米、野菜、果実の産出額と農業産出額の合計を示している。グラフと表から読み取れることとして適切でないものを、あのア～工から1つ選び、その記号を書け。



(「県勢」2020年版)

ア Aは、耕地面積、農業産出額ともに最も多い。Aの米、野菜、果実の産出額の合計は、Aの農業産出額の合計の半分以下である。

イ 田の面積の割合が半分以上を占めるのはB、C、青森県、岩手県である。このうち、Bは、米の産出額が農業産出額の合計の半分以上である。

ウ Aは、B、青森県、岩手県と比べると、畠の面積の割合が高い。Cの野菜の産出額の割合は、5道県の中では最も高い。

エ 樹園地の割合が最も低いのはA、最も高いのは青森県である。青森県の果実の産出額は、青森県の農業産出額の合計の3分の1以上である。

6. 以下の問題を解きなさい

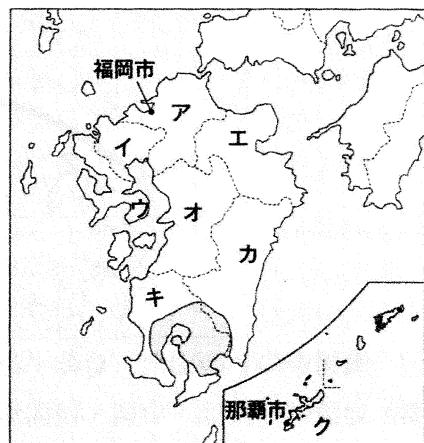
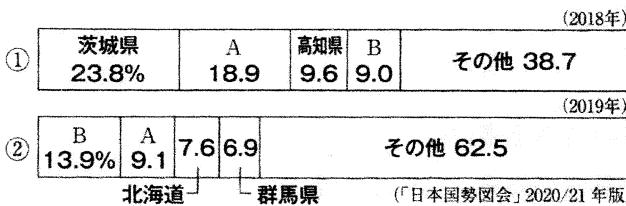
日本国内では、高速道路の建設、新幹線の開業、空港の整備などで地域間の移動にかかる時間は（①）された。また、高速道路網の整備によって、（②）による貨物輸送の割合がふえている。

一般に、日本と世界を結ぶ人の移動には、主に航空機が使われている。これに対して、ものの輸送では、運ぶものの性質に応じて海上輸送と、航空輸送とがそれぞれ利用されている。

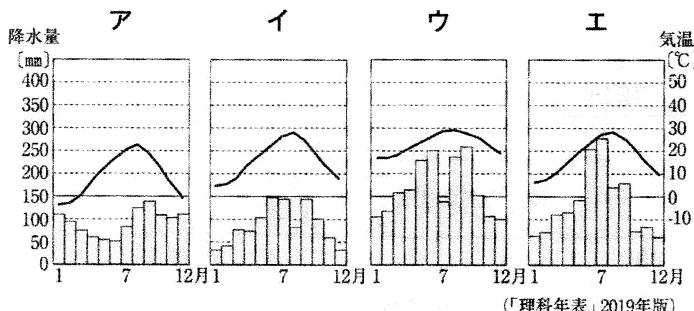
- (1) 文中の（　　）①、②に当てはまる語句を書け。
- (2) 海外から日本を訪れる人のために、受け入れ体制を整えることが課題となっている。どのようなことを整備すればよいか。具体的に書け。
- (3) ものの輸送について、海上輸送と航空輸送に適している品目について、価格や重量に注目して、それぞれ例をあげて書け。

7. 以下の問題を解きなさい

- (1) 地図中の□で示したシラス台地は稲作には不向きな土地である。その理由を、「水」「養分」という語句を使って、簡単に書け。
- (2) 次の①、②のグラフは、ピーマンの都道府県別生産量、豚の都道府県別飼育頭数の割合を示している。グラフ中のA、Bに当てはまる県を、地図中のア～クから1つずつ選び、その記号を書け。

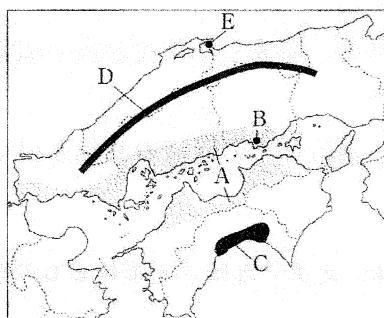


- (3) 次のア～エのグラフは、福岡市、那霸市、高松市、札幌市のいずれかの雨温図である。那霸市に当てはまるものを、ア～エから1つ選び、その記号を書け。

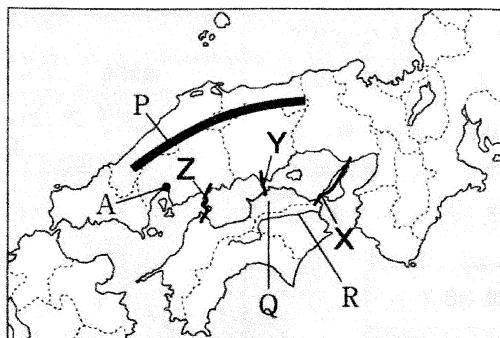


8. 以下の問題を解きなさい

- (1) 地図中のAの工業地域を何といふか。
- (2) 地図中のBの倉敷市には、関連する工場が集まり、パイプラインなどで結ばれた石油化学□が形成されている。□にあてはまる語句を答えなさい。
- (3) 現在、地図中のCの平野の野菜は、東京や新潟などの遠い地域でも売られている。その理由を、「所要時間」の語句を使って、簡単に説明しなさい。
- (4) 地図中のDの山地や離島などでは過疎化が進んでいるが、定住者を積極的に受け入れたり、観光客を呼び寄せたりするなどの取り組みを行っている地域もある。このような過疎化対策を□という。□にあてはまる語句を答えなさい。



9. 以下の問題を解きなさい



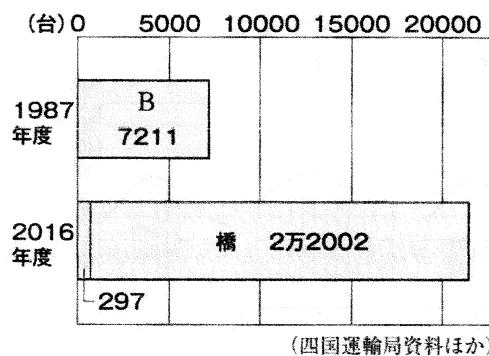
- (1) 地図中のPの山地, Qの平野, Rの川の名称を書け。
(2) 地図中のAは、中国・四国地方最大の都市である。この都市名を書け。

- (3) 右のグラフは、地図中のX, Y, Zのルートの開通前後の、本州と四国の1日当たり自動車通行量の推移を示している。グラフ中のBに当てはまるものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア 貨物船 イ フェリー
ウ 航空機 エ 鉄道

- (4) 地図中のX, Y, Zのルートを、完成した年代が古い順番に並べかえ、その記号を書け。
(5) このような交通網の発達は、地方都市の経済の衰退を招くことがある。その理由を簡単に書け。

※ (4) は、他2つのルートとは違い徒歩や自転車で渡れるものが1番新しいものです

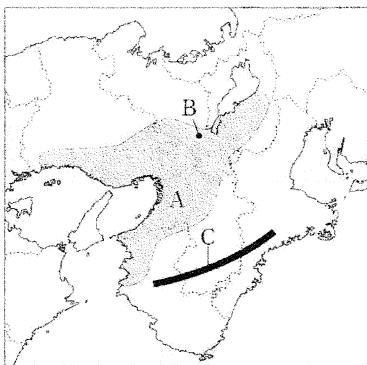


I 0. 以下の問題を解きなさい

(1) 地図中のAの工業地帯を何というか。

(2) 地図中のAの工業地帯では、近年、臨海部の工場のあと地などで新しい産業の工場が立地している。この工場の製品を次から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 繊維 イ 太陽光パネル
ウ 鉄鋼 エ 蓄電池



(3) 資料は、重要文化財の地方別割合を示している。近畿地方にあてはまるものを資料中のア～エから選び、記号で答えなさい。

(4) 地図中のBの都市の伝統的工芸品を次の〔 〕から選んで答えなさい。

- 〔 熊野筆 会津塗 萩焼 清水焼 〕

(5) 地図中のCの山地では、世界遺産に登録された〔 〕の山道の保全活動が行われている。〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

(6) 地図中のCの山地で行われている「環境林」を保全する取り組みは、森林のものどのようなはたらきを期待して行われているか。簡単に説明しなさい。

資料

九州 4.4 東北 3.3			
ア 45.9%	イ 27.3	ウ 10.5	エ 8.2
※国宝含む (2020年)	北海道 0.4		(文化庁資料)